

参加者が捕獲した「水田の生きもの」について

観察された生きもの（種類分けは肉眼観察により推定）

植物： 稲、ウキクサのなかま、シオグサのなかま（ミドロのなかま）

節足動物： ミジンコのなかま、カブトエビ、カイエビ、アメリカザリガニ

巻貝： タニシのなかま、カワニナのなかま

環形動物： ヒルのなかま

水生昆虫： コオイムシ、ガムシ（成虫・幼虫）、ゲンゴロウ（幼虫）、マツモムシ、ヤンマのなかま、イトトンボのなかま、アメンボのなかま

魚類： カワムツ、ドジョウのなかま

両生類： ニホンアマガエル、オタマジャクシ、

鳥類： シラサギ、ヒバリ（声のみ）

* 今回の講座（水田の生きもの調べ）は初めての試みで、室内での観察時間が短かったので、まだまだ見落としている生きものがあると考えられる。しかし、「健全な水田」の指標である「ミジンコのなかま」や「カブトエビ、カイエビ」などが多く生息していたので、観察させていただいた水田は「健全な水田」であることがわかった。

* 1枚の水田という小さな生態系の中で、植物（ミドロのなかま、ウキクサ、稲）⇒ ミジンコなどの動物プランクトン ⇒ ヤゴなどの水生昆虫 ⇒ カエルや鳥など、食物のつながりが成立していることも気づいてもらえた。

* 観察した生きものの写真

シオグサのなかま



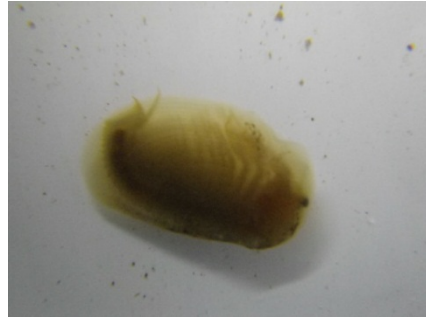
水稻



カブトエビ



カイエビ



アメリカザリガニ



ミジンコのなかま



トンボのなかま



ヤンマのなかま



コオイムシ



コオイムシ



ガムシのなかま (成虫)



ガムシのなかま (幼虫)



マツモムシのなかま



ゲンゴロウのなかま (幼虫)



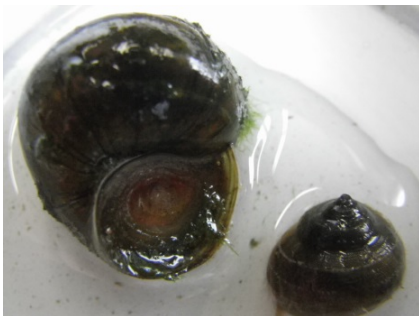
アメンボのなかま



カワムツ



タニシのなかま



カワニナのなかま (水路にて)

